



ながす議会だより

No.135

朝日



平成30年 第3回(9月)定例会

一般会計決算認定等

～わたしたちの税金はどう活かされたか～ ②～⑥

一般質問 11人が登壇し町政を問う

⑦～⑰

委員会視察研修報告

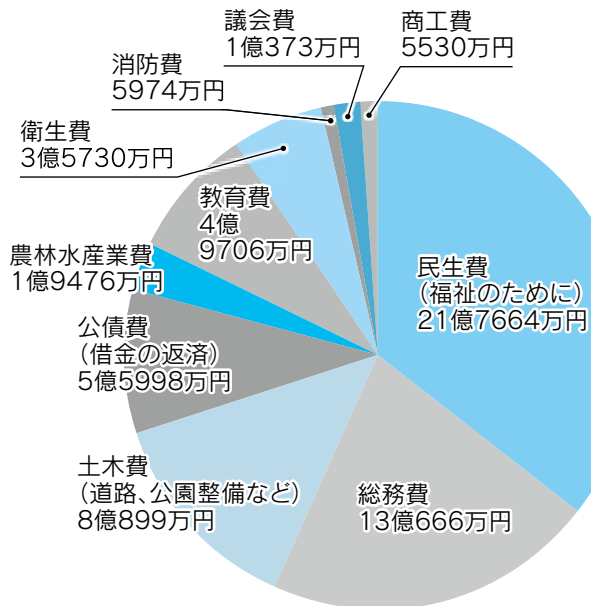
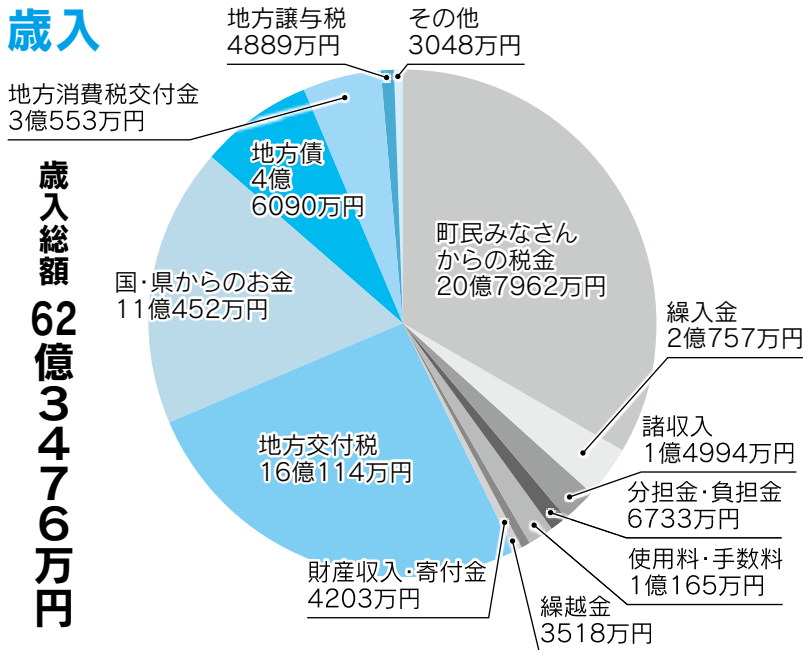
⑱

平成30年度

長洲町小学校親睦陸上記録会

記録目指して
ガンバレ！

歳入



歳出

歳出総額 61億2026万円

平成29年度一般会計決算

わたしたちの税金は
どう活かされたか

定住化に向けた事業展開を評価



平成29年度 一般会計決算 町民1人当たりの金額(対前年度比)

総務費

8万1417円



1950円
ダウン

民生費

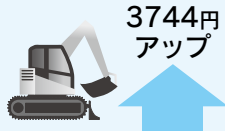
13万5625円



2304円
アップ

土木費

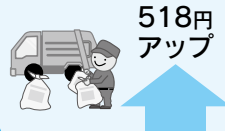
5万408円



3744円
アップ

衛生費

2万2263円



518円
アップ

農林水産業費

1万2135円



4612円
ダウン

消防費

3722円



2692円
ダウン

教育費

3万971円



1万8441円
ダウン

公債費

3万4892円



545円
ダウン

1人当たり
約38万円
使いました!



町民1人当たりの金額は、平成30年3月31日現在の総人口(16,049人)から算出しました。金額は端数処理をしているため、合計が合わない場合があります。

一般会計決算(質疑)

歳入

問 (大森議員)
相続登記がすんで

いない土地建物の固定資産税は把握しているか。

答 (税務課長)
未相続分について

も、代表相続人や納税管理人を立てていただき納税をお願いしている。件数、金額は把握している。

問 (大森議員)
ふるさと納税だが、

入と出の差し引きはどうか。

答 (まちづくり課長)
ふるさと納税分約

3450万円のうち経費が約1500万円、差し引き1950万円が町に残った。

答 (税務課長)
30年度賦課資料で

町内納税義務者が他へ寄附した結果町税が低くなった分は247万円である。

問 (磯野議員)
中期財政計画では

29年度は歳入歳出総額が65億ほどだった。決算書では総額62億と3億ほど見込みと違うが、主な要因と今後の影響は。

答 (総務課長)
歳出の事業の変更

により歳入の金額が大きく変わった。今後、振興計画等の中での見直しを行う。中期財政計画も見直しは必要である。

歳出

問 (前田議員)
健康ポイント事業の実績は。

答 (福祉保健介護課長)
1000名の目標に

対して286名である。期間的な分と制度の理解が浸透できなかった。

問 (福本議員)
予防接種の予定を下回った原因は。

答 (福祉保健介護課長)
当初予想していた受診者が大幅に少なかったため。

問 (大森議員)
ノリ調査研究事業の状況は。

答 (農林水産課長)
商品化の可能性があるものを考えている。

問 (竹本議員)
土木費の道路改良

事業だが全て無事に工事が済んだのか。

答 (建設課長)
向野・平原線道路

改良工事に未完了部分があり、平成30年度秋に行う予定としている。

問 (荒木議員)
防犯灯は将来的には全部LEDに変える考えか。

答 (総務課長)
町の方針はそのように考えている。区の所有は補助をしながら進めていきたい。

問 (磯野議員)
小学校の電気代はいくら不足したのか。

答 (学校教育課長)
小学校全体で予算額1200万円に対して約1530万円であり、330万円ほど不足した。

問 (濱崎議員)
し尿収集の量は近隣町と比べてどうか。

答 (住民環境課長)
一番多い和木町で

一人当たり、1950リッター、長洲町は984リッターと4番目に少ない。

LEDに変わった防犯灯



長洲町ふるさと納税返礼品(一例)



平成29年度 特別会計決算を認定

会計区分	歳入	歳出	翌年度への繰越すべき財源	実質収支 (差引き額)	前年度 実質収支	単年度収支
国民健康保険	26億557万円	25億916万円	0	9641万円	4677万円	4964万円
介護保険	17億4022万円	16億7714万円	0	6309万円	5898万円	411万円
後期高齢者医療	1億8849万円	1億8757万円	0	92万円	27万円	65万円

		収入	支出	収支の差額
水道事業会計	収益的収支	2億5986万円	2億4338万円	1648万円
	資本的収支	981万円	8446万円	△7465万円
下水道事業会計	収益的収支	8億7495万円	8億3861万円	3634万円
	資本的収支	7億9767万円	10億158万円	△2億391万円
	特例的収支	1億5046万円	1億9684万円	△4638万円

問 (大森議員)
総務省から示された損益分岐点はあるか。

答 (水道課長)
総務省から経営に
関してそういった指摘
はない。

問 (竹本議員)
給水人口と給水戸
数には、外国人は入っ
ているか。

答 (水道課長)
給水人口と給水戸
数には、全て外国人が
含まれている。

問 (中川議員)
漏水調査業務の調
査結果と結果内容を今
後どう生かされるのか。

答 (水道課長)
長洲地区と腹赤地
区の結果、漏水18件発
見し改修工事も完了し
ている。今後も漏水検
査は継続していく。

条例改正など

後期高齢者医療広
域連合規約の一部
改正

〔内容〕

熊本県の広域連合の
議員定数32名を45名と
し、構成市町村の長及
び議会の議員のうちか
ら1名を選出すること
により住民の声が反映
できることになる。任
期は市町村長又は議員
の任期とする。

附属機関設置条例
の制定

〔内容〕

現在要綱で設置して
いる審議会、委員会を
執行機関及び教育委員
会の附属機関として地
方自治法第138条の
4に基づいて条例で整
備するため。

家庭的保育事業等
の設備及び運営条例
の一部改正

〔内容〕

法律の改正に伴い条
例の一部を改正。

金魚と鯉の郷広場
条例の一部改正

〔内容〕

金魚と鯉の郷広場に
ゆつくりとくつろぎな
がら交流する場として
の金魚のカフェテリア
を設置する。

土地改良事業(出汐
堰)の経費の賦課基
準並びに徴収の時
期と方法

〔内容〕

老朽化に伴う改修工
事の賦課金は事業費の
20%53万円、徴収は一
括にて事業完了後から
平成31年3月31日まで
とする。

平成30年度 一般会計補正予算

一般会計へ2098万円を追加

総額 73億2309万円



主 要 事 業

①総合行政システム開発(変更)事業 ……442万円
マイナンバーカード等への旧姓の併記を可能

②防犯カメラ整備事業 …………… 89万円
地域の見守り及び犯罪防止を目的として
防犯カメラ追加(35カ所)

③防犯灯整備事業 ……………100万円
葛輪区内、梅田区内、建浜区内の防犯灯整備(10本)

④土地改良施設(出汐堰)改修工事 ……268万円
菜切川の菜切橋上流に位置する取水施設(ゴム堰)
の老朽化に伴う破損個所の改修

⑤土砂災害危険住宅移転促進事業補助 ……300万円
居住する住民が安全な区域へ移転する補助



特 別 会 計 等 補 正 予 算

会 計	補正額	総 額	内 容
国民健康保険特別会計	5288万円	23億188万円	事業報告システム改修委託及び平成29年度決算に伴う国・県等への返還金
介護保険特別会計	4668万円	17億9568万円	平成29年度決算に伴う国・県等への返還金
後期高齢者医療特別会計	61万円	2億511万円	平成29年度決算に伴う繰越金

審議結果 <全議案可決>

賛成…○ 反対…× 欠(退)席…欠
 *議長は表決に加わりません。 *報告は採決しません。

議案番号	件名	前田美和子	中川雅明	福本みや子	大森秀久	竹本信次	荒木睦子	磯野博	浦邊朝章	宮本哲太郎	濱村芳光	福永栄助	松井一也	濱崎久	徳永範昭
議案第20号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第21号	長洲町付属機関設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号	長洲町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	金魚と鯉の郷広場条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第24号	土地改良事業(出汐堰改修)の実施に伴う経費の賦課基準並びに徴収の時期及び方法について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第1号	平成29年度長洲町一般会計決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第2号	平成29年度長洲町国民健康保険特別会計決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第3号	平成29年度長洲町介護保険特別会計決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第4号	平成29年度長洲町後期高齢者医療特別会計決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第5号	平成29年度長洲町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第6号	平成29年度長洲町下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
報告第4号	平成29年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
議案第25号	平成30年度長洲町一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第26号	平成30年度長洲町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第27号	平成30年度長洲町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第28号	平成30年度長洲町後期高齢者医療特別会計補正会計予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

賛成

討論(認定1号)

反対

浦邊 朝章 議員

厳しい財政事情のもと、定住、教育、産業など町の将来に向けた事業を行いながら、歳入総額が前年度より4.9ポイント減少するなかで、歳出総額は5.7ポイントの減少となっていることから、歳出を抑えた効率的な財政運営がなされたと考えている。歳出面で扶助費の増加が財政を圧迫しているが、各種事業においては国、県の補助事業を活用しながら、英語教育の推進、健康ポイント事業や有明海の再生、子育て支援などあらゆる分野で事業を推進することが出来たものと評価する。限られた財政でまちづくりや、福祉の向上が図られることを期待し賛成討論とする。

大森 秀久 議員

まず、不用額が1億2186万円となっている。不用額は予算の効率的な執行や節約によるものもあり、一概に悪いとはいわないが一方で平成29年度の町債は4億6千万円あり、歳出100万円以上の不用額一覽等からも厳しい財政状況のもとで予算執行をよりの確に行うべきである。増加している社会保障関係への対応は理解できるが、行政サービスに財源を振り分ける上で住宅リフォーム助成の減額や、県事業の長洲港整備における負担割合については、町民の理解が得られるとは思わない。以上、申し上げて反対討論とする。



大森秀久議員

町を挙げ災害訓練を行うべき

答 災害の種別が違い各地域で行う

問 ここ数年、風水害の発生回数が多くなっている。町を挙げて訓練を行い、防災に生かすべきではないか。

答 (町長) 起こる風水害が全町的でも、災害の種別が地域によって違うと想定されたため、沿岸、河川、丘陵と地域ごとに訓練を行っている。

問 町の防災計画はホームページで検索できるが、8月17時点で平成28年度版であった。関係する部署でどのように共有され、認識されているのか。

答 (総務課長) 防災計画の更新が遅れていたことは、申し訳なく思っている。通常は県の計画を踏まえ、出水期前に見直し、

会議を経て共通理解を図っている。

問 災害予防計画に高潮災害に対するものがない。一方で避難に関しては記載がある。町は海に面しており書き入れる必要があるのではないか。

答 (総務課長) 高潮は台風が発達し低気圧が海岸部を通る時生じるもので、町では風水害に含まれるものとして扱っている。

長洲きんぎよ村は活用されているか

答 緊急行財政行動計画で

休止の状態

問 内水面活性化総合対策事業で長洲きんぎよ村が造られたが、活用状況はどうか。

答 (町長) 平成7年度から11年度まで直営で、金魚養殖に不足する金魚種苗や餌を生産し供給してきた。平成19年まで

ではないか。

問 農林水産省の補助金を使っており、金魚養殖以外の活用は制限されている。

答 (農林水産課長) 農林水産省の補助金を使っており、金魚養殖以外の活用は制限されている。

活用されているか

休止の状態

問 業務委託の運営で、平成20年度から緊急行財政行動計画の策定により休止の状態である。現在、提言を受け、活用のための具体化を検討している。

答 (農林水産課長) 把握している範囲では、食べる方の魚で、かつ、漁業組合として生業をしている統計であり金魚養殖は含まれていない。

問 長洲きんぎよ村は金魚養殖以外にも使つことは出来るのか。

答 (農林水産課長) 農林水産省の補助金を使っており、金魚養殖以外の活用は制限されている。

問 農林水産関係の専門職の採用実態はどうなっているか。

答 (総務課長) 専門職の必要性は認識している。職員数が限られローテーションもあり採用は慎重にしなければならない。

問 町の内水面漁業は金魚養殖だが、農林水産省の統計には含まれているか。

答 (農林水産課長) 把握している範囲では、食べる方の魚で、かつ、漁業組合として生業をしている統計であり金魚養殖は含まれていない。

内水面漁業の状況(九州・沖縄)H25年度

農林水産省統計から

県別	経営体数	養殖池数(面)	面積(m ²)	販売実績なし	100万まで	100万と500万	500万と1000万	1000万と2000万	2000万と5000万	5000万と1億円	1億円以上	合計
熊本	71	1,100	224,935	3	18	21	8	7	9	4	1	71
福岡	65	751	347,164	5	12	26	12	5	2	1	2	65
大分	51	763	6,647	2	13	10	7	6	10	1	2	51
佐賀	16	285	34,276		5	6	1	1	2		1	16
長崎	20	295	77,174	2	3	8	4	1	1		1	20
宮崎	88	1,404	428,231	5	11	11	8	6	7	9	31	88
鹿児島	58	1,360	418,428	1	1	4	6	4	4	5	33	58
沖縄	3	46	11,920	1	0		1		1			3

*この表で示されている内水面漁業には金魚養殖業は含まれていない



竹本信次議員

外国人労働者が10年で倍増、若者の雇用環境整備を

答地元新卒者を中心に若者の雇用の場の確保を図りたい

問 平成29年末の在留外国人人数（総数）は256万人を超え、日本に暮らす外国人は過去最多となっている。また、外国人労働者は120万人を超え10年で倍増している。

答 本町における現在の在留外国人人数（総数）及び国籍別人数と在留資格別の内訳は、どうなっているか。

（町長）
本年8月末の町内在住の外国人の総数



外国人労働者が急増する地元企業

は、428人で、国籍別では、ベトナム285人、フィリピン81人、中国33人、韓国8人、アメリカ7人、ネパール4人、ブラジル3人、マレーシア2人、インド、インドネシア、スイス、タイ、スロバキアが各1人となっている。また、在留資格別の内訳は、専門的・技術的分野11人、永住者等37人、技能実習266人、特定活動（技能実習修了者で造船就労者等）113人、留学生1人となっている。今後も在留外国人人口の増加が予想される。

問 本町の外国人労働者数は、10年で3倍強の増加。今後さらに単純労働者が、なし崩し的に拡大すれば若者の雇用が失われかねない。町の将来を見据えて企業誘致や若者の雇用環境整備を推進すべきではないか。

答 国の「経済財政運営と改革の基本方針2018」で「新たな外国人の受け入れ」の項目が追加され、今後も技能実習生をはじめ外国人労働者の受入れ拡大が予想される。企業等連絡会議で地元新卒者や若者の雇用の場の確保に向けて地元企業に働きかけていきたい。

問 外国人労働者の定住化が進み、一時的な滞在者から長洲町に暮らす生活者という存在となっている。地域におけるコミュニティ活動や祭、運動会など、どのイベントへの参加を促進し、日本語能力と地域に溶け込むための知識を身に付けさせることはできないか。

答 （町長）町のイベントでも、「のしこら祭」への参加や「金魚と鯉の郷まつり」で、昨年度から母国の料理を販売する等、交流を図っている。今後も外国人労働者の方が地域に溶け込めるよう「地域住民と外国人労働者との交流促進」を実施したい。



外国人労働者との交流促進を



英語って、楽しいナー！



荒木睦子議員

先進的な英語教育に取り組んだ成果は

答表情や心身の豊かさに成長を感じる

問 保育所・認定こども園では遊びを通して、ゲームや音楽で英語指導、また、小学校においては、教育課

程の特例校の指定を受けて、英語の指導が行われているが、現状を見据えて、今後の取り組みを伺う。

答 (町長)

今年度で3年目になり、子どもたちは笑顔で楽しく参加している。町内に住む全ての子どもたちが平等に英語に触れるよう環境整備に努める。

答 (教育長)

全小学校で1年生から6年生まで週2コマの時数で実施、今後は英語専科教職員の確保や新たな教材作りや活動内容を見直す。

問 英語教育3年目に

なり、子どもたちにどんな変化、また、どのような効果があらわれたか伺う。

答 (子育て支援課長)

日常生活の中で、数、天気、感情など英語で表現(ことば)でできるようになり、心身

が豊かになった。

問 在宅の子どもたちが英語に親しむ機会を与えているか。

答 (子育て支援課長)

ゼロから2歳児の子どもたちは保護者と一緒に月2回、1回20分でリズム遊びを通して英語に触れている。

問 32年度より英語教育が正式教科として導入されるが、教員の研修はどのように実施されているか。

答 (学校教育課長)

英語部会をつくり、スキルアップを目的に研修を実施、内容は、授業、演習、ALTや委託している指導者と実践的な演習を行っている。

野良猫に対しての対策は

答 県の補助制度を積極的に活用

問 野良猫が増えて、さまざまな問題が多発し住民の困り事になっている。町の取り組みを伺う。

答 (町長)

本年度、野良猫の相談は7件あった。県の補助制度の積極的な情報提供に努める。なお、県の補助とは、避妊去勢手術費の一部で、メスが1万円、オスが5000円である。



責任もって育てよう！



負担やツケの先送りは許されない



磯野 博議員

財政運営は健全になされているのか

答 厳しい運営を強いられている

問 行財政運営について、本町は基金が乏しく、問題は山積している。平成29年度の決算状況を踏まえ、町はどう捉えているか。

答 (町長) 歳入では地方交付税が減少し、歳出では扶助費が増加したものの全会計において黒字決算であった。

問 下水道の赤字を脱却し、財政運営は健全な状況か。依然として厳しい状況か。

答 (総務課長) 経常収支比率も高い数字ではあるが平成27、28年度は健全な財政運営が図れたと感じている。しかし平成29年度の決算は黒字決算ではあるが普通交付税の減少を要因とし、基

金を取り崩した。厳しい財政運営を強いられたと感じている。

問 中期財政計画にもあるが、将来的な財政の見通しはどう捉えているか。

答 (総務課長) 予算的には平成31、32年度は不足が生じる結果が見えている。中期財政計画も今後、定期的なローリング、見直しが必要であると考えている。

問 行政改革を掲げて取り組むべきではないか。本町の取り組みは。

答 (総務課長) 平成19年度に緊急行財政行動計画を策定し、取り組んできた。その後、新たな行財政改革の計画策定は今現

在行っていない。

問 緊急行財政行動計画の終息宣言を町全体に対してされたのか。下水道赤字脱却で自動的に終了したのか。

答 (総務課長) 計画期間は終了したが、財政的に裕福になったとか余裕ができたわけではない。

問 いろいろな事業に對して今年度はやる、次年度はやらないとかその時々々の住民感情や選挙対策で、するようなものではないと考える。近年、削減された補助金や負担金、委託料が復活増額されたり、新規事業の拡大が見られる。それらに行政の無駄はないのか。何か策を講じているのか。

答 (総務課長) 特別な国からの補助金とかはない。歳入の中で住民サービスの向上は必要と頑張っている。また、無駄な事業について重複業務の集約、業務の効率化等物件費等の削減、などに取り組んでいる。

問 行財政改革計画へ早期に取り組む必要があるのでは。

答 (町長) 常に行財政改革を目標していくのは行政の義務であると思う。



遊歩道使用のマナーを守って



宮本哲太郎議員

名石浜遊歩道をきれいにしよう

答照明を今年度中にLED灯にする

問 名石浜遊歩道の管理について5点を質問する。

8月初めに起きたイノシシの出没について町はどのように対応されたのか、またマムシもいるので対策はどうするのか。

答 (町長) 8月上旬上沖洲区長より目撃情報の相談を受け職員が数回現場に出向き付近を搜索。

散歩中の住民に聞き取りを行い対応をしている。その数日後に車と衝突して死んでいるとの情報があったので担当課で処理をした。またマムシ対策については遊歩道の草刈りを定期的にを行いマムシが生息しやすい環境を保つようにしている。

問 最初にイノシシが見つかったのは7月24日で2回目見つかったのが8月4日で区長が連絡を受けすぐ住民に注意を呼びかけられた。8月6日に死んでいるのが見つかった。その間13日間あったがどんな搜索をされていたのか。町内の監視カメラでキャッチできないのか。

答 (総務課長) 防犯カメラのところを通していけば映る可能性はある。リアルタイムで監視しているわけではないのですぐに把握はできない。

問 マムシは夜行性だから草刈りだけでなく他の方法も考えるべきだ。

答 (建設課長) 遊歩道を明るく照らすセンサー式のLED灯を設置する。

問 旧堤防と遊歩道の間が雑木林になっている。きれいにできないか。

答 (町長) 剪定や伐採などを行うと今以上にきれいになり安心して利用できる公園になると考えている。剪定伐採する箇所は多く安全性の確保を考え主要幹線道路中心に行っている。

答 (建設課長) 財政状況をみながら検討する。また危険性が及ぶようなら随時伐採する。

問 遊歩道の雑草刈りは定期的に必要なである。

答 (町長) 草刈りについては名石浜工業団地内の管理と併せて民間委託している。

答 (建設課長) 伸び方があるので適宜、除草は考えている。

問 遊歩道のルールが守られていない。町の対応は。

答 (町長) 入り口に看板を立てている。英語でも表記している。

問 遊歩道内でバーベキューした跡がある。町の指導は。

答 (町長) 禁止している。カメラ設置も検討する。



濱村芳光議員

通行上危険な道路整備を

答現場に応じた安全対策を行う

問 向野区内の町道東屋敷・本村線は幅員が狭く凹凸があり通行上危険である。道路の全面舗装をし、拡幅

答 工事を行い、落下防止用の柵をつくる等の安全対策が必要では。

問 (町長) 町道整備について

は交通量が多いなど利便性が向上する路線や、危険性が高いと判断する路線など優先度の高い路線から整備を進めている。

問 この道路では自動車の落下事故も起きている。事故は通行量に関係なく起きてい

る。町道次六・保育所線では、自転車での通行中の死亡事故が起きている。

答 (建設課長) 現場に応じた安全対策を行う。その方法については今後検討する。

問 町道次六・保育所線の宮野969の1付近の道路にあるカーブミラーの設置部分が雨水で流されて支柱が傾いて倒れる可能性がある。対策を。

答 (町長) カーブミラー設置のコンクリート基盤と道路舗装間の道路路肩の砂利等が流れており、また、カーブミラー鏡面も古く見えにくくなっており取り換え修繕をする。

問 西側の緑化ブロックづくりのり面

学校の環境整備を

業者に依頼し計画的に管理する

問 六栄小学校の正門付近の樹木の手入れができていないために大きくなり過ぎている。以前は、定期的に剪定をされていたが、途中から伐採する等の早急な対応が必要では。

答 (教育長) 数年に区域を分け、高木剪定は業者に依頼し、計画的に管理する。通用門近くの桜の木が一本腐れて枯れており危険である。

問 伐採をして安全確保をする。

答 (教育長) 伐採をして安全確保をする。



安心して通れる道路に



定期的に伐採剪定を



福永栄助議員

新地方公会計（財務書類4表）が作成されたが

答 財務書類を活用し経営管理を推進していく

問 統一的な基準に基づく財務書類は、何を目的として作成したのか。

答 （総務課長）
現行の官庁会計では捉えることのできない資産・負債などのストック情報や、減価償却費等のコスト情報を補完した全体の財務状

況を踏まえた経営管理の推進と、住民、議会、外部に対しての財務情報の開示による説明責任を果たす目的として作成した。

問 何に活用しようと考えているのか。

答 （町長）
固定資産台帳、施設別行政コスト計算書

を公共施設等の総合管理の推進、事業別行政コスト計算書を予算編

成に取り組み、経営管理を推進していきたいと考えている。

健全な財政運営とは言えないが

答 行財政改革や

財政健全化に向けて努力する

問 財務書類の分析がされているが、何が問題と捉えているのか。

答 （総務課長）
他の団体、類似団体等々との比較という

のが、まずあることになる。

問 持続可能性（健全性）が重要と考えている。債務償還可能年数が16・4年となっている。これは8・10年ぐらいにすべきである。そして、基礎的財政収支（プライマリー

バランス）がマイナスである。これがマイナスだと借金に返済が進まないということだ。業務活動収支（支払利息を除く）4億2478万218円に投資活動収支マイナス5億7750万9170円だから基礎的財政収支がマイナス1億4789万7956円となっている。これをプラスにするべきである。次に弾力性（資産形式等を行う余裕はどのくらい

あるのか）で行政コスト対税収等の104・2%、この比率が100%を上回っているといることは前年度までの資産が取り崩したということと、こういうことをするから金が残らない。この比率は100%を超えないようにしなければならない。

答 （町長）
健全な財政運営とはいえない。

答 （町長）
財務書類の4表について、いろいろご提言をいただいた。さらなる行財政改革や財政健全化に向けて努力していきたい。



財務書類(統一的な基準)



財務書類(資料編)



濱崎 久議員

きんぎよ村・町長の答弁は虚言!!

答お叱りを真摯に受けとめる

問 管理の不適正について、資料を提出し指摘したが、町長は総合的に管理業務を行っている」と答弁。はたして調査結果は。

答 (町長) ご指摘を受けたあと、管理を徹底するよう指示した。

問 4年間かけてきんぎよ村行政財産の不適切使用を指摘した。そこで町長も不正を認めた。しかし何の制裁も課さなかった。その結果不審な公文書疑惑が発生した。議会では町長の虚偽答弁が疑われる。調査の結果は町

長の答弁とは真逆ではないか。町長の答弁は虚言と反省しているか。

答 (町長) 我々の管理をもっとしっかりとしろというお叱りを真摯に受けとめていく。

答 (まちづくり課長) 金魚の館の屋根に木が生えていたことなど指摘を受けたが、雨漏りの原因にもなるし、大変申し訳なく思う。

新山墓地の調査をすべき

答 これまで全て墓地改葬してる

問 無縁仏として長洲霊堂に安置されておられる仏様以外で、そのまま墓地に眠っておられる仏様を町はどう扱っているのか。

答 (町長) これまで全て無縁仏として墓地改葬を行っている。

問 擁壁工事中、2体の御遺体が発掘、火葬場前でも髪の毛が異様に伸びた御遺体は今もそのまま埋め戻されているがこの扱いはどうしているのか調査したか。

答 (住民環境課長) 墓地環境整備事業は取り組んでるが墓地改葬自体は途中なので、あのままで良いというわけではない。あの墓地を最終活用していく段階では、必要に応じては、調査も出てくるのかと思う。

問 昭和53年に新山墓地改葬後RKK放送局が、神奈川県川崎市方面から来られた人の訴えを放送した。調査すべきだ。

答 (住民環境課長) 墓地環境整備事業は取り組んでるが墓地改葬自体は途中なので、あのままで良いというわけではない。あの墓地を最終活用していく段階では、必要に応じては、調査も出てくるのかと思う。

長洲中学校の危機管理実態はどうか

危機管理実態はどうか

答 裁判中で答弁は控える

問 危機管理上、校長が教員に資料をとるよう指示したら教員はどのようにするか。

答 (教育長) 当然教員はそれに従う。アンケートをとり、報告し、必要に応じて集約するなど記録を残す。それは保存している。

答 (学校教育課長) 裁判に関わる内容は答弁を控える。

答 (住民環境課長) 町では把握もしておらず記録もないの



金魚の館の屋根



本番さながらの訓練



前田美和子議員

自主防災組織の更なる向上を！

答 自主防災計画のガイドラインを作成する

問 今年も多くの災害が発生している。災害はいつ起こるか分からない。地域防災の確立が必要だが本町の現状は。

答 (町長) 地域ごとに工夫した訓練を行っている。自主防災組織は100%だが、自主防災計画の策定までで

きているのは、上沖洲区のみである。各地区に必要なと考えるが町の助けが必要ではないか。

答 (総務課長) 自主防災計画は、非常に重要なものである。町の助けが必要である。ガイドラインを作成し周知することにより自主防災計画の推進を図る。

問 防災士が各地区に一人は必要だと思う。広報がすやホームページで周知してはどうか。

答 (総務課長) 防災士資格取得助成金として推進している。周知を図っていく。

問 清里小学校では、災害図上ゲームDIG(ディグ)が行

われた。帰宅後の災害時の避難を考える良い機会であり各学校で行ってはどうか。

六栄小校区でも

地域合同避難訓練を

答 検討していく

問 腹赤小、長洲小、清里小では、地域合同避難訓練が行われているが、六栄小では行われていない、六栄小校区においても行う必要があるのではないか。

答 (学校教育課長) 六栄小校区でも検討していく。

問 避難所はそれぞれ違っている。実際の避難所において自主防災組織の方々に避難

答 (学校教育課長) 今後、各学校に働きかけていく。

所運営ゲームHUG(ハグ)を体験していただくことが必要ではないか。

答 (総務課長) 有効だと考える。キットを購入し貸出しなどを検討し周知を図る。

問 大牟田市立三池小学校で総合防災訓練が行われた。本町でも全体での住民参加型の防災訓練を実現してほしい。



助けあって安全に

答 (総務課長) 小学校・中学校区での総合防災訓練を検討していく。

問 災害発生時にいて女性だけの避難所があってもいいのではないか。

答 (町長) 男女共同参画の視点での避難所も開設していかなばならない。



中川雅明議員

介護保険料の上昇をおさえるためには

答 介護予防と健康づくり活動が大きな要因と考えている

問 多くの市町村の介護保険料が上がる中、本町では前期と同じく月額平均5800円に据え置くことができた要因は何か。

答 (町長)

介護予防拠点事業と一連の介護予防事業の成果と考えている。

問 介護認定率は、平成24年20・7%。平成29年16・7%で4%減少している。このように推移していけば介護保険料の上昇を抑えることは可能か。

答 (福祉保健介護課長)

介護予防や健康づくりに取り組みの効果として、介護保険料の

上昇の伸び抑制につながると考えている。

問 介護予防強化、健康づくり活動の推進はどんな取り組みか。

答 (福祉保健介護課長)

健康体操教室、脳の健康と脳トレ教室、ものづくり教室、元気あっぷりーダーによる体操教室、介護予防教室、健康ポイント事業、カラオケ、茶道講座等の実施である。

問 元気あっぷりーダー養成講座修了者は何人いるのか。また平均年齢は。

答 (福祉保健介護課長)

現在48名。平均年齢69・9才。

問 健康ポイント事業。昨年の実績と現在のカード配布実績を伺う。

答 (福祉保健介護課長)

昨年のポイント達成者286名。カード配布3000枚超。

問 ポイントは、どこでどのように付与されるのか。

答 (福祉保健介護課長)

町主催のイベントや健康づくり活動の会場、10月より福祉保健介護課、すこやか館で付与。

問 団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けての取り組みについて伺う。

答 (町長)

適切な介護保険サービスの確保、質の向上。また、介護予防生活支援サービスの充実を図り、自立した日常生活ができるよう努めていく。



介護予防拠点での健康体操

問 介護申請から介護認定までの期間と待機中の人の処置はどうなるのか。

答 (福祉保健介護課長)

期間は30日。待機期間は、必要なサービスを窓口で、家族、申請者も含め説明し対応している。



楽しい老後



寺子屋学習塾でがんばるモン!



福本みや子議員

寺子屋学習塾の充実に向けての方向性は

答 学校・塾・保護者間で情報交換し指導形態を検討する

問 ふるさと塾の状況は。

答 (教育長) 参加児童も順調に

増え人材バンクの幅広い人材を活用し、体験活動が出来ている。

問 課題をどう捉え、どのような方向性で行くのか。

答 (教育長) 郷土愛を育て主体性を持った子どもを育てるため、地域人材を発掘し地域の特色を生かしたプログラムを企画、充実していきたい。

強が楽しくなった、また友達と一緒に行きやすい、無料で有難いなどの声もある。今後の方向性の参考にする。

問 今年度は児童数が増えたが運営面での課題はあるか。

答 (学校教育課長) 学年ごとの内容や習熟度や指導方法がそれぞれ違うので指導内容や指導者の人数などが課題となった。関係間で調整し情報共有の為に交換の場を持ちたい。



規律訓練に汗を流しています

問 寺子屋学習塾で家庭学習の習慣付けは出来つつあるか。

答 (学校教育課長) 保護者アンケートでは、学力の向上、勉

に職場の理解と協力が重要だ。様々な配慮を頂くことに対して行政として、出向き協力をお願いしてはどうか。

消防団員の職場との連携を図れないか

答 企業連絡協議会などで

お願いする

問 常日頃の消防団活動に敬意を払う。

非常事態に団員が職場から駆けつける場合

答 (総務課長) 協力的な職場に感謝している。今後も企業連絡協議会などの機会を見つけてお願いをしていきたい。

問 消防団活動や地域活動が出来る職場

答 (総務課長) 地元の先輩から後輩へや親から子への声掛けが確実に効果的だ。引き続き行っていく。

は従業員との安心感に繋がると思う。新規団員を増やすためにも企業訪問も大いに行なって欲しい。今後新規加入を奨める方向性は。

追跡レポート

あん質問はどがんなった

平成 29 年 12 月議会一般質問

火葬場道路の整備を平成 25 年に要請している。人生の最期を迎えられた方々のために、一日も早く整備されるべきと思うが、どのように考えるか伺う。



答 弁

ご指摘の区間は長洲海岸エリアトイレ付近から長洲斎苑までの舗装整備だが、県事業で整備中の長洲・玉名線の供用開始後に舗装工事を実施したい。



●●●● その後の対応は ●●●●

平成 31 年度の予算で当該区間の拡幅と舗装のため予算を計上する方向で進めている。



平成 29 年 12 月議会一般質問

就学支援のひとつとして、入学準備金の前倒し支給が広がっている。この件についてどう考えるか伺う。



答 弁

近隣の他市町でも検討されているが、平成 31 年度の新入生が適用になるよう実施を考えている。



平成 30 年度の予算で計上され、平成 31 年 3 月に支給することになっている。対象は小・中学校の新 1 年生となる。



9月28日(金)

福岡県大刀洗町議会

9月28日(金)第32回全国町村議会広報コンクールにて入選を受賞された福岡県大刀洗町にて「議会だより編集に係る取り組み等について」視察研修を実施した。

今回、大刀洗町の議会広報委員会視察研修に至った経緯については、7月11日埼玉県寄居町に視察研修した折、大刀洗町から視察研修に訪問され、非常に熱心で活発な議論が交わされたことを聞き、大刀洗町に視察研修をすることにした。紙面構成では、フルカラー化、綴じ穴を廃止し視覚的な充実を図った紙面構成。企画では、公正で正確な編集、平易で読みやすい紙面



分かりやすい広報を目指して(大刀洗町)

づくりに努めて、議会からの一方的なお知らせではなく、住民との双方向型の紙面づくりの方法を学んだ。

●視察研修を終えて

この視察研修で学んだことを今後の紙面づくりに活かしていきたい。

10月9日(火)～10月11日(木)

奈良県斑鳩町議会

●議会と住民懇談会

斑鳩町民で組織する公共性を有すると認められる団体と議会の懇談会を実施し、多様な意見を徴取することにより、町議会及び議員の政策提案機能の強化及び拡大を図っている。

京都府精華町議会

●開かれた議会について

精華町議会は、通年議会の導入や基本条例を制定し、①住民参加の促進(議会報告会と意見交換会等)、②情報公開・説明責任、③議会権能の発揮(基本計画を議決対象に)、④政策提言・提案(決算審議で事業評価)を4本柱とする「開かれた議会」を実現し、精華町の持続的で豊かなまちづくりを目指している。

精華町議会は、通年議会の導入や基本条例を制定し、①住民参加の促進(議会報告会と意見交換会等)、②情報公開・説明責任、③議会権能の発揮(基本計画を議決対象に)、④政策提言・提案(決算審議で事業評価)を4本柱とする「開かれた議会」を実現し、精華町の持続的で豊かなまちづくりを目指している。



議会改革に向けて意見交換(精華町)

兵庫県西宮市議会

●議会改革について

委員会機能を活性化するため市当局と所管事務懇談会の開催や、タブレット端末の導入、インターネット中継、議会体感ツアー、高校生が議会を訪問しバーチャル市議会を実施するなど、様々な議会改革に取り組んでいる。

●視察研修を終えて

町民の声が議会に反映されるための議会改革を進めていきたい。

10月22日(月)～10月24日(水)

東京都足立区

●子どもの貧困対策を本格スタート

平成26年8月に対策本部を設置。平成27年度には「未来へつなぐあだちプロジェクト(足立区子どもの貧困対策実施計画)」を策定し、本格的な取組みに着手している。

神奈川県三浦市

●防災に関する取組み

①市の災害対応について
・地域防災計画
・災害対策マニュアル
・職員初動時行動マニュアル
・配備及び動員計画
・職員集情報伝達方法
これらの他にも多くのマニュアル、ルールを策定している。

②市職員の訓練について
年1回、大規模災害発生に伴う災害対策本部の運営訓練を実施している。

③地域防災の普及啓発について



活発な意見交換を行った(足立区)

・市民参加型訓練
・防災関係機関実働訓練
訓練を通じて市職員の災害対応力の向上を図り、市民の防災意識向上に取組んでいる。

東京都江東区

●東京都虹の下水道館

普段入ることのできない下水道管やポンプ所、中央監視室、水質検査室で下水道の仕事体験し、下水道に携わる人の思いや工夫に気づくことが出来た。

まとめ

今回の視察研修で、先進的な取組みに大変刺激になった。議会としても提案していきたい。

町民のひろば

町民の声

木下 紘子さん (磯町区)

「ハロー。」「ハウワユー。」の一言から始まる英会話サークル。

毎週木曜日、午後7時30分から中央公民館で英会話を楽しんでいます。はじめに各々がWhat's New? を話し、他の人が質問したりします。

また先生からクイズや歌、世界のニュースのプリントをもらい、読んだりしていると、楽しい時間は、すぐに過ぎてしまいます。

時にはALTの先生も来られ、外国の話を聞くこともできます。

皆さん、英会話に参加しませんか。



傍聴席から一言

竹下 真由さん (玉名市)・鍋島 悠さん (荒尾市)

私たちは、県議会議員インターンシップの活動の一環で長洲町議会を傍聴させていただきました。議会を傍聴するのは初めてだったので緊張しましたが、外国人労働者の問題や、英語教育における今後の発展など、様々な観点から長洲町と町民について考えておられることを感じることができました。想像していたよりも長時間行われていて、大変重要な活動をされているのだなと思いました。自治体の運営の流れの一部を知ることができ、とても貴重な経験をすることができました。



ひと言

やっと酷暑の夏が過ぎ、小さな秋を感じるこの頃だが、台風の到来に、まだまだ落ち着いた秋を味わえないようだ。

子ども達は夏休み後、心も体も大きく成長し、たくましささえ感じる。ところで、通学時の持ち物負担が心配されているが、学校では、教える量が増加して教科書が分厚くなったり大型化

したりして副教材も多様化してとのこと。子を思う親の気持ちで柔軟な対応を考えたいものだ。
(荒木)

皆さん傍聴に出てこんね!

次の定例会は

12月10日(月)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先

議会事務局

電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年齢を書くだけです

発行責任者

議長 徳永 範昭

広報委員

委員長 濱村 芳光

副委員長 前田美和子

委員 中川 雅明

委員 大森 秀久

委員 荒木 睦子

委員 磯野 博

委員 福永 栄助